

企業データ4.(人事)

経営者の略歴を調べる。

企業の先行きを見るには、経営者の方針も重要

日経テレコン21を使用

記事検索 財務面「トップに聞く企業戦略」 「人名」、「企業名」で検索

人事検索

略歴の書き方(提出用)

まず、氏名を書き、<略歴><手腕>などの見だしをつけ、各項目2行以内におさめる。

<略歴>は必須。

<略歴>内の順番

生年月日 書く場合と書かない場合がある。書く場合は、「1975年(昭和50年)生まれ。」などとする。生年月日に和暦を書いた場合は、卒業年次は西暦だけにする。

卒業年次(卒業年次を最初にするときは、西暦とともに和暦も書く。)

入社年次(卒業年次と同じ場合は続けて書く)

主な社内の経歴。すべて書くと膨大な量になるので、2-3個重要なものを選ぶ。

出身都道府県

<手腕>、<性格>などで解説する。<趣味><特技>などでもよい。

フォントなど

氏名(ふりがな) 会社名 MSゴシック 10.5ポイントで
(1行あける)

<略歴>(MSゴシック、10.5ポイント)1965年... (MS明朝、10.5ポイント)

:

(例)

小島順彦(こじま・よりひこ) 三菱商事社長

<略歴> 1965年(昭和40年)東大工卒、三菱商事入社。95年取締役、2001年副社長。2004年4月1日に社長就任。東京都出身。

<手腕> 経歴は機械の営業が長いが、経営企画などコーポレート部門もそつなくこなした。成長事業にも成熟事業にも携わった経験があり、いわば全天候型の商社マン。

<性格> モットーは「縦横コミュニケーション」。横は組織の壁を超え、縦は世代の壁を超えた会話をさす。「携帯電話の使い方が分からないと、そのへんの若い人に聞いて教えてもらう。全然、抵抗ないよ」。

小林栄三(こばやし・えいぞう) 伊藤忠社長

<略歴> 1972年(昭47年)阪大基礎工学卒、伊藤忠商事入社。2003年常務取締役。6月29日に社長就任。福井県出身。

<手腕> 情報分野が長く、伊藤忠テクノサイエンスを上場に導くなど伊藤忠の情報事業の確立に貢献した。典型的な「攻撃型」。「この案件は毒まんじゅうかもしれないけど、とにかく食べてみよう。体がしびれるくらいなら構わない」が若いころの信条だった。

<性格> 人間関係に厚く、IQ(知能指数)ならぬ「EQ(感情指数)がきわめて高い」が一部の評。丹羽宇一郎前社長も「他人を思いやれる“温”の人間」と評する。